

第8回 あきる野市総合計画審議会 議事録

日 時：令和3年9月1日（水） 午後3時00分～4時00分

場 所：あきる野市役所5階503会議室

出席者：会 長 菊地 俊夫	副会長 横倉 三郎
委 員 田野倉 美保	委 員 網代 和夫
委 員 安永 勝昭	委 員 浦野 知昭
委 員 松村 博文	委 員 倉田 克治
委 員 伊東 満子	委 員 野島 健也
委 員 吉田 榮久夫	委 員 梶 敏男
委 員 多田 恵子	委 員 青木 旦治

（書面方式による参加：甲野富和委員、山崎勇委員、坂本勇委員、齋藤孝委員、立花晋也委員、近藤怜美委員、下村智委員、町田修二委員、吉田正幸委員、清水明委員）

1 開会

（事務局）

緊急事態宣言が再延長された状況ではあるが、会長・副会長と協議の結果、重要な審議事項であることから対面での意見交換が必要と考え、感染症対策を講じた上で対面形式にて開催させていただくことにつき、ご理解を賜りたい。

なお、本日は書面方式による参加も交えて開催している点についてもあわせてご報告する。

2 会長挨拶

（菊地会長）

こんにちは。お忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の影響もある中ではあるが、総合計画の審議も大詰りを迎えていることから、1時間程度と時間を制限しつつ、対面で充実した検討を行いたい。

3 議事等

(1) 国土強靱化地域計画の策定について (案)

【資料1に沿って、事務局より説明した。】

(菊地会長)

ご意見がある場合は挙手にてご発言いただきたい。

(特になし)

(2) 総合計画基本計画 (素案) 及び重点施策について

【資料2に沿って、事務局より説明した。】

(菊地会長)

各自が提起した意見の反映が出来ているかを確認いただきたい。基本的には概ね反映できている印象である。ご意見はいかがか。

(特になし)

(3) 総合計画基本計画指標案、SDGs 施策対応調査一覧、第二次あきる野市総合計画基本計画 (素案) について

【資料3・4・5に沿って、事務局より説明した。】

(菊地会長)

SDGs を総合計画で掲載すべき理由、あるいは特に市として重視する目標を掲げると更によいのではないか。

(事務局)

都の計画や近隣地方公共団体の動向も踏まえ、総合計画の推進をもってSDGsの達成に寄与するという整理をしているが、市として特に重視すべき目標等があれば記載することを検討したい。

(委員)

SDGs と総合計画の関係性について、もう少し説明をいただきたい。表の中で丸がついていることの意味は何か。

(事務局)

国際的な目標であり、国ごとに目標達成に向けた取組を定めている。日本においても同様であり、各地方公共団体においても目標達成に向けた取組の整理等を進めている。本市においては総合計画における施策、事業を推進することで、SDGs の推進に寄与するという整理を試みている。具体的には17の目標に対して、どの施策、事業が関係しているのかということ丸で表現している。

(菊地会長)

理想を言えば、年代に関係なく、だれが読んでもわかるような関係性の整理、表現を心掛けていただきたい。

(事務局)

基本構想にも SDGs への言及があるため、ボリュームや表現も含めて、統一的に精査をする。

(委員)

土砂災害に関する記載はあるが、発生する要因などについても触れた方が良いのではないか。

(事務局)

直接的な要因としては自然現象（降雨）である場合が大半と理解している。

また、国土強靱化地域計画においても土砂災害に係る対策は継続して記載したいと考えている。

(委員)

重点施策の表について、「住み続けたい魅力的なまち」が掲げられ、産業振興・市民生活・行財政分野の取組が対応しているが、総合力が問われるテーマであるため、他の分野にも関係しているのではないか。

(事務局)

テーマ5は、テーマ1から4の実現を「情報発信」という側面から促進するという位置付けをしているため、ご指摘の点にも対応していると認識している。

(委員)

施策の成果目標について、サンプルとして第1章に記載されているが、以降の章でも同様の対応をするという理解でよいか。

(事務局)

ご認識の通りである。

(委員)

具体的な指標候補の状況はどうか。

(事務局)

資料3に掲げた候補の中から抽出、掲載する予定である。

(委員)

各部署で検討、抽出した候補が今後審議会に示されるという理解でよいか。

(事務局)

ご認識の通りである。

(4) 人口推計(案)について

【資料6に沿って、事務局より説明した。】

(菊地会長)

案が2つ示されているが、合計特出生率の設定の違いに起因している。事務局としてはどちらが望ましいと考えているのか。

(事務局)

直近5年間の傾向を踏まえた、案2が望ましいと現時点では考えている。参考までに、国が掲げる合計特殊出生率の目標は2030年1.8、2040年2.07であるが、本市の状況を踏まえると、そのまま適用することは相応しくないと考えている。

(菊地会長)

特にご意見がなければ案2をベースに設定する。

4 閉会

(事務局)

本日のご意見及び後日提出頂く意見書を踏まえ、内容を修正する。その後、議会への報告を行い、改めて審議会へお諮りしたい。

(副会長)

感染症の動向にかかる見通しは専門家の中でも意見が分かれている。落ち着かない日々が続く中ではあるが、短時間で活発な意見交換、ありがとうございました。